

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	老年看護学概論			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第一看護学科	1 年	A・B	1 (15)	講義	令和8年度前期
科目目標 1 老いの実態と推移を知り、老年期の心身の変化を理解できる 2 生涯発達の視点からみた老年期の発達課題を説明できる 3 老年期における健康の考え方が理解できる 4 わが国の高齢者の保健統計から、健康状態と生活、世帯・家族と社会関係に関する傾向が理解できる 5 高齢者の暮らしに関連する社会保障制度の変遷をふまえ、現行制度の成り立ちを理解できる 6 高齢者の権利や尊厳を守るための倫理的課題と看護のあり方を理解できる 7 高齢者の特徴からみた高齢者看護の概要が理解できる					
授業概要 胎児期～成人期において多様な時代を生き抜いてきた高齢者を一人の人として統合的に理解し、尊厳をもって看護するための基礎知識の習得を目的とする。ここでは、老年期を生きる人の特徴と超高齢社会の現況、社会保障、高齢者の権利と倫理的課題、老年看護の目的と看護の特徴について学ぶ。					
卒業時到達目標との関連 DP- ①・②・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容			
1	2	1 老年期を生きる人の理解 1) 高齢者の定義 2) 加齢と老化 3) 加齢に伴う変化 4) ライフヒストリー			
2	2	5) 老年期の発達課題 6) 老年期における健康と生活			
3	2	2 超高齢社会の現況と社会保障 1) 超高齢社会の統計的輪郭			
4	2	2) 暮らしを支える社会保障 3) 地域共生社会と看護活動			
5	2	4) 高齢者の権利擁護			
6	2				
7	2	3 老年看護の役割 1) 老年看護の定義と目的 2) 老年看護の役割			
8	1				
		【テキスト・参考書】 ・系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 ・厚生 の 指標 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
		【成績評価の方法】 ■筆記試験			

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	老年援助論Ⅰ			担当講師名	専任教員	
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実施時期	
第一看護学科	1	A B	2 (45)	講義・演習	令和8年度前期	
科目目標 1 加齢に伴う健康・生活への変化を体験する高齢者の豊かな老いに向けた援助のあり方を全人的に考えることができる 2 身体の形態・機能、心理社会的側面の加齢変化と生活への影響を理解できる 3 高齢者に特有な健康問題の特徴とその看護・援助を理解できる 4 地域から施設までの様々な生活の場における看護の役割が理解できる 5 高齢者の尊厳ある死に向けた援助方法が理解できる 6 高齢者を介護する家族の看護が理解できる						
授業概要 1 老年期における人生・生活課題を学習し、高齢者が自分らしく、よりよく生きていくための看護について理論を活用し学習する。 2 高齢者の加齢変化にともなう身体機能の変化を理解し、生活への影響と身体機能を維持するための援助方法について学ぶ。 3 地域から施設までの様々な高齢者の生活の場における看護の役割を理解する。 4 健康問題を有し生活機能が低下している高齢者の、持てる力を活かした生活支援の方法を演習を通して学ぶ。 5 人生の最終段階における高齢者の特徴を理解し、尊厳ある死を迎えるための、患者、家族への援助方法を学ぶ。						
卒業時到達目標との関連 DP- 1・2・3・4・5・⑥・⑦・⑧・⑨・10・⑪・12						
回数	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 老年看護における理論や概念の活用 1)長寿社会における理想の生き方・老い方 2)老年看護における理論		13	2	3) 尊厳を守る排泄ケア ①排泄に関わる生活調整と援助
2	2	2 高齢者の身体機能・構造の加齢変化 1)高齢者体験（演習）		14	2	②高齢者の排泄援助の実際（演習）
3	2			15	3	4) 皮膚の乾燥がある高齢者の清潔ケア ①皮膚障害の予防 ②清潔のアセスメントと援助
4	2	2) 身体の加齢変化と生活への影響 ①皮膚 視覚 聴覚 感覚器 ②循環器 呼吸器 消化器 ホルモン 腎泌尿器		16		5) 高齢者の生活リズムと看護 ①高齢者の生活リズムと特徴的な変動 ②生活リズムを整える看護
5	2			17	2	
6	2	③運動系 3) フレイルとサルコペニア		18	2	6) 高齢者の生活機能を整える看護の実際 パーキンソン症候群のある高齢者の生活のアセスメントと援助
7	2	4) 高齢者総合機能評価		19	2	
8	2	5 生活・療養の場における看護 1)介護予防と生活支援 2)保健医療福祉施設および住居施設における看護		20	2	
9	2	3)治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護		21	2	4 エンドライフケア 1) 高齢者のエンドライフケアの概念 2) 人生の最終段階における意思決定支援 3) 高齢者の末期段階における身体的変化と苦痛を緩和するケア 4) 臨終時・死後のケア 5) 家族への支援
10	2	3 高齢者の生活機能を整える看護 1)移動・姿勢保持に関するケア		22	2	
11	2	2)食べる・飲むためのケア ①加齢変化に伴う摂食嚥下障害と看護 ②低栄養のアセスメントと看護		23	2	
12	2	③高齢者の食事援助の実際（演習）		【テキスト・参考書】 1 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 2 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 3 高齢者の看護技術 第2版 医歯薬出版株式会社 【評価】 ■筆記試験		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	老年援助論Ⅱ			担当講師	専任教員・外部講師
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第一看護学科	2 年	A・B	1 (15)	講義・演習	令和8年度前期
科目目標 1 高齢者の認知機能障害の特徴と看護について理解できる 2 認知症高齢者の病態的側面を理解できる 3 認知症高齢者を理解するときの視点と看護の原則が理解できる 4 認知症高齢者の尊厳と安心を支えるコミュニケーションの原則と方法を理解し実施できる 5 認知症高齢者の家族の状況や心理を踏まえた支援が理解できる 6 認知症施策の理念と具体策を理解し、看護の役割を考えることができる					
授業概要 認知症高齢者とその家族の尊厳を支え個性の高い看護を展開するための知識と技術を学ぶ。 授業は講義と演習で構成する。					
卒業時到達目標との関連 DP- ①・2・3・4・5・⑥・7・8・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容			
1	2	1 認知機能障害のある高齢者の看護 1) 高齢者の認知機能障害 うつ せん妄 認知症			
2	2	2 認知症高齢者の看護 1) 認知症の定義 2) 認知症の症状 3) 認知症の病態・診断・治療・検査 4) 認知機能および生活機能の評価			
3	2	3 認知症看護の実際① (外部講師)			
4	2	4 認知症看護の実際② (外部講師)			
5	2	5 認知症の看護 (演習) 1) 認知症高齢者とのコミュニケーションの原則 2) 認知症高齢者の尊厳と安心を支えるコミュニケーション			
6	2	6 認知症高齢者の生活障害のアセスメントと看護 7 急性期医療における認知症高齢者の看護			
7	3	8 認知症高齢者と家族へのサポートシステム 9 認知症施策の動向			
		【テキスト・参考書】 ・系統看護学講座 老年看護学 医学書院 ・系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 医学書院			
		【成績評価の方法】 ■筆記試験			

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	老年援助論Ⅲ			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第一看護学科	2 年	A・B	1 (30)	講義・演習	令和8年度後期
科目目標 1 健康障害を持つ高齢者の検査、入院、治療、退院後の生活に向けた看護の基本が理解できる。 2 高齢者のもてる力に着目した目標指向型の看護の基本が理解できる					
授業概要 超高齢化社会を迎え、成人期と同様の侵襲が大きい検査、治療を受ける高齢者も多い。高齢者の意思決定支援を支援、もてる力を活用し健康の回復を目指す一方で、容易に状態の変化が起こりうるため、リスクマネジメントも重要となってくる。また、入院期間の短期化は高齢者も同様であり、入院中の支援が退院後の生活の質をも左右することから、患者、家族が望む生活が送れるための退院支援が重要となる。ここでは高齢者の検査・入院・手術・治療に伴う看護を実践するための基礎的知識を学び、演習を用いて、患者の状況に応じた必要な看護を実践するための基礎的能力を養う。					
卒業時到達目標との関連 DP- 1・2・3・4・5・⑥・7・8・9・⑩・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 検査を受ける高齢者の看護 1) 円滑な検査実施への援助 2 薬物療法を受ける高齢者の看護	11	2	6 入院治療を受ける高齢者の看護 事例を活用したアセスメント 4) 看護計画の立案
2	2	1) 加齢に伴う薬物動態の変化 2) 高齢者に特徴的な薬物有害事象 3) 老年症候群と薬物有害事象 4) 薬物療法における援助	12	2	6 入院治療を受ける高齢者の看護 事例を活用したアセスメント 5) 計画した看護の実施（演習） 6) まとめ
3	2	3 入院治療を受ける高齢者の看護 1) 治療を担う医療施設の状況 2) 入院に伴う環境変化と高齢患者への影響 3) 高齢者の入退院支援と看護 ①入院時の援助 ②退院への支援	13	2	
4	2		14	2	7 高齢者の特徴を生かした看護過程の考え方 1) 生活行動モデルによる看護過程 2) ICFモデルによる目標志向型思考
5	2	4 手術療法を受ける高齢者への看護 1) 手術を受ける高齢者の特徴 2) 術前の看護 ①術前準備 ②術前オリエンテーション ③術前から始める術後合併症予防 3) 術後の看護 ①術直後からの観察 ②術後合併症予防ケア（せん妄）	15	2	
6	2		【テキスト・参考書】 1 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 2 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
7	2	5 リハビリテーションを受ける高齢者への看護 1) 高齢者のリハビリテーション 2) 経過別リハビリテーション			
8	2	6 入院治療を受ける高齢者の看護 事例を活用したアセスメント 1) 事例配布 2) アセスメント (個人ワーク)			
9	2		【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ 課題		
10	2	6 入院治療を受ける高齢者の看護 事例を活用したアセスメント 3) 問題点の整理			